

史跡広島城跡石垣カルテの作成について

1 令和 6 年度までの実施内容

- (1) 天守台周辺、南・東小天守周辺を中心とした現況測量（資料 3-2 青①部分）
- (2) 裏御門、腰曲輪部分を対象とした現況測量（資料 3-2 赤②部分）
- (3) 合坂・階段部分（近代の改変箇所も含む）についての追加平面計測
- (4) 石垣カルテの作成（資料 3-2 青①部分及び赤②部分の一部）
- (5) 石垣カルテ作成マニュアルの作成

2 令和 7 年度の実施内容

- (1) 本丸上段 東・南・西側の石垣/土居部分の現況測量（資料 3-2 黄③部分）（土居は地形測量を含む）
- (2) 本丸下段 中御門、南東隅櫓部分の現況測量（資料 3-2 黄④部分）
- (3) 広島城跡石垣カルテの作成（赤②部分の一部及び黄③部分）
- (4) 内堀石垣（内側・外側）について、現況の分割撮影（主に堀水面上）をドローンで実施（資料 3-2 緑⑤部分）

※いずれも、予算の範囲内で、優先順位を付けて実施

3 過去写真との照合調査

令和 6 年度から、整備基本計画改定業務の一環として実施している過去事務記録類のアーカイブ化において確認された過去の広島城跡の石垣等写真について、現況との比較照合を行うことで、特に戦後に実施された石垣改変の範囲と状況を把握する調査を行う。